

ご好評につき追加募集をさせていただきます。
※視聴方法は「Vimeo」となります

※こちらはZoom講座満席につき、ライブストリーミングサービス「Vimeo」への同時配信にて、追加募集をさせていただきます。(講師との口頭での質問は出来かねますことご了承くださいませ)
必ず、ライブストリーミングサービス「Vimeo」を視聴いただけることを確認の上、お申し込みください。
視聴確認:<https://jipii-live.com/page-987/>

欧州特許における3大ハードル:権利化コスト・権利化期間・補正要件に立ち向かうための日本出願ドラフト戦略

8月28日(水)
15:00~16:00



【受講料】 **無料**

【定員】 70 名 (要事前申込・先着順)

【お申込】

http://www.jiii.or.jp/kenshu/chizaiken_shu_tanki.html#tokubetsu



講師: 小代 泰彰 氏
Winter Brand|特許法律事務所
日本部門マネージャ 弁理士

本セミナーの目的:

将来の欧州特許出願を考慮した日本出願原稿のドラフト戦略及びチェックポイントを理解する。

多くの知財担当者は欧州特許出願に対して、権利化コストが高く、権利化期間が長く、審査段階における補正要件が厳しいというイメージを持っています。例えば、欧州では特許前の審査段階で年金が発生し、その金額も頻繁に値上がりしています。また、出願後、調査報告の発行は早いものの、それに対する応答後の審査報告の発行は日本などと比較すると時間を要します。さらに、補正要件の厳しさにより、他国で認められた補正が欧州では認められないことがあります。

これらの課題に対してうまく対応するための準備は、欧州特許出願後からでは十分ではなく、欧州特許出願の基礎となる日本出願の原稿の作成の段階から始まっています。

そのため、欧州出願を扱うことの多い担当者又はこれから欧州出願を検討する担当者にとって、将来の欧州特許出願を考慮した日本出願原稿のドラフト戦略及びチェックポイントを学ぶことは大変重要です。

アジェンダ (予定)

- ・導入
- ・権利化コスト低減に関する施策
- ・権利化期間短縮に関する施策
- ・補正要件に対応するための施策

※解説資料は当日画面共有のみとなります。

講義終了後、資料ご希望の旨、ご連絡をいただいたお客様へ、後日、講師よりデータを送付させていただきます。(詳細は、講義当日にご案内をさせていただきます。)

アーカイブ配信も実施(2週間)

・聞き逃しても安心! / 期間内はなんどでも

お問合せ先: (一社)発明推進協会 研修チーム TEL 03 3502 5439

視聴方法等は、開催前日までにメールでご案内をいたします。
アーカイブ配信は、講義の翌営業日から2週間となります。

発明推進協会特別企画講座